草 津 市 教 育 委 員 会 会 議 録

令和７年１月定例会

（１月２３日開催）

草 津 市 教 育 委 員 会

出　席　委　員	教　育　長	藤　田　雅　也
	委　　員	我孫子智美
	委　　員	森　登　世　美
	委　　員	伊　藤　有　理
	委　　員	小　辻　寿　規

事務局出席者	教育部長	岸　本　　久
	教育部理事（学校教育担当）	菊　池　　誠
	教育部副部長（総括）	安　藤　智　至
	教育部副部長（スポーツ担当）	田　中　　歩
	教育総務課長	山　田　晋　作
	生涯学習課長	古　川　郁　子
	草津宿街道交流館長　兼　史跡草津宿本陣館長	岩　間　一　水

令和７年１月草津市教育委員会定例会会議　次第

令和７年１月２３日　午後２時００分開会
（草津市役所　６階　教育委員会室）

日程第１　会期の決定について

日程第２　１２月定例会会議録の承認について

日程第３　教育長報告

日程第４
付議事項（１件）
議第１号　社会教育主事の任命につき議決を求めることについて

日程第５
報告事項（２件）
（１）定期監査の結果について
（２）寄付の受け入れ報告について

開会　午後２時００分

藤田教育長　それでは、ただいまから草津市教育委員会１月定例会を開会いたします。

――――――日程第１――――――

藤田教育長　日程第１、「会期の決定について」でありますが、本日１日限りといたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

各委員　―　異議なし　―

藤田教育長　異議がないようですので、１月定例会は本日１日限りといたします。

――――――日程第２――――――

藤田教育長　次に、日程第２、「１２月定例会会議録の承認について」でありますが、あらかじめ事務局から配付され、確認されていると思いますが、御異議はございませんか。

各委員　―　異議なし　―

藤田教育長　異議がないようでございますので、１２月定例会の会議録は承認されたものと認めます。

――――――日程第３――――――

藤田教育長　次に、日程第３、「教育長報告」に移ります。
それでは、私の方から諸般の報告をさせていただきたいと思います。
１２月１３日に、老上小学校５年生のスクールＥＳＤくさつプロジェクトの学習発表会が行われました。
「米の魅力を発信しよう」ということで、体育館には多くの保護者の方、地域の人々に参加いただきまして、各クラスの取組発表が行われました。米粉を使用したマドレーヌづくりの発表で、米粉を使

うことで肥満や糖尿病予防に繋がることや、グルテンというアレルギー物質がなく誰でも食べることができるなど、米粉を使用したメリットが紹介されました。さらに、米粉のマドレーヌとおすすめ米粉スイーツレシピも配布され、多くの人に米の魅力を伝えていました。

また、隣のクラスでは米農業の後継者問題を題材に、近代化された技術によって昔に比べると農業も省力化が図られている、未来の農業に対する展望や農業に対する理解を深めてほしいと発表していました。

これまでは、田植えや稲刈りなど米作りを体験して、米作りの良さ、自然との触れ合いの良さに気付く学習でしたが、さらに学習のまとめを発表するだけでなく、米の魅力を具体的な取組によって多くの方に広め、米の消費拡大や農業への理解促進が図られていました。

次に、令和７年の初めての校長会が１月８日に開催されましたので、出席し、年頭訓示を行いました。その中でお話させていただいたことを少し御紹介させていただきます。

まず、３学期が始まり、今年度のいわゆる「仕上げの学期」であり、子どもたちにとっては進級や受験を控える時期でもございます。また、来年度の教職員人事と構想を立てる大切な時期でもございます。しっかりと目的、目標を持って学校経営に邁進していただくようお願いいたしました。

そして、最近の教育に関わる動きについて、２点お伝えをいたしました。

１点目は、令和７年度予算についてでございます。政府が昨年の１２月２７日に予算案を閣議決定され、文部科学大臣の定例記者会見で教職員の定数改善と待遇改善について言及されました。また、本市の予算編成も山場を迎えております。私が教育長に就任以来、橋川市長と総合教育会議などにおいて、教育課題とその解決方策について意思疎通を図って、しっかりと教育予算の獲得をしてまいりました。来年度予算もハード・ソフトの両面において必要な予算を確保していきたいと述べさせていただきました。２点目は、次期学習指導要領の諮問についてです。昨年末１２月２５日に国の中央教育審議会において、「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」という諮問が行われました。主な審議事項の中に、本市が既に取り組んでいる「スクールＥＳＤくさつプロジ

ェクト」や令和８年度から導入を予定している小学校での「午前５時間制草津プラン」に関連することも含まれていることをお伝えしました。

最後に、今年の干支である「へび」が脱皮するように、草津市の教育にとって「変化と進化をもたらす」年となるよう、学校と教育委員会が共通の目標に向かってさらに連携を強めるよう大いに期待いたしまして訓示とさせていただきました。

次に、１月１３日に、３７名の若者が企画・運営をした２０歳のつどいが開催されました。クレアホールにおいて、午前と午後の２部構成で開催され、総勢１，０２０名の参加がございました。会場周辺では同級生と記念写真を撮るなど、久しぶりの再会を楽しむ姿が多く見られました。

今年のテーマは「Ｓｔａｎｄ　Ｏｕｔ　Ｆｉｔ　Ｉｎ～２０歳からはみ出して馴染め～」です。この言葉は、２０歳は進路や生活に悩むことが増える時期です。そんな時に自分を見失わないでほしい、自分を出してという意味だそうです。そして自己中心的に考えるのではなく、協調性も必要であることを忘れないでほしいという意味が込められています。

これからは、先行きが不透明で将来の予測が困難な時代を迎えます。また、少子高齢化によって若者には期待がますます寄せられることと思われます。その中で、自分自身の良さや得意分野を伸ばすとともに、他者を価値ある存在として尊重し、協力・協調して新たなことに挑戦する、そんな社会の発展をイノベーションしていく実践力を付けてほしいと願っております。

以上、私からの報告を終わらせていただきます。

それでは、各委員の皆様から、教育全般に関する事項で、御意見・御感想などをお願いいたします。

我孫子委員

１月１３日に、２０歳のつどいの午前の部に参加させていただきました。昨年よりも多くの方が式に参加されているような印象を受けました。式の前に実行委員会で作成されたムービーが流れた時には、子どもの頃を懐かしむような声があちらこちらから上がるといった和やかな雰囲気もありつつ、テーマで「２０歳からはみ出して馴染め」とあったように、これからも社会の一員として自分も他人も大切にしながら、一歩だけでなく二歩、三歩も駆け出していこうとするような、凛としたような雰囲気もあり、とても良い

式だったように思います。

１月１９日は草津陸競の役員として、草津市駅伝競走大会兼草津市スポーツ少年団交流駅伝競走大会に参加してきました。草津市駅伝は第７０回で、スポーツ少年団は第２８回という歴史のある大会です。中学生や地域対抗の部、午前にあった部に関しては少なめの参加ではありましたが、一般の部では２１チームも参加がありまして勝ち負けというよりは、襷を繋ぐ楽しさを感じてもらっているのだなと見ていて感じました。一般の部は学校の先生方でチームを作って参加されているところもありました。スポ少の午後の部では交流駅伝については４０チームの参加がありまして、こちらの応援も凄く白熱していました。中学の部では別の市町からの参加もありまして、たくさんの人に参加してもらえるような工夫も加えながら、これだけ続いている大会ですので、幅広く親しまれる大会として今後も続いていってほしいなと思いました。

以上になります。

森委員

１月１３日に２０歳のつどいの午後の部に参加させていただきました。オープニングセレモニーで懐かしい映像が出てくると、大いに盛り上がっていました。でも、式典では全体的に静かで、式辞・祝辞等を聞いておられました。メリハリのある２０歳のつどいだったように思います。決意のことばを述べられた代表の方や実行委員長の言葉からは、これまで育ててくださった家族や出会った大切な方々への感謝の言葉、思いに溢れていたように思います。これから様々なことに出会うと思いますが、挑戦する気持ちを忘れずに大切に進んでいってほしいなと思いました。

１月２１日に山田こども園を訪問してきました。山田こども園では、白いへびが洪水の際に川の水を飲んで村を救ったという地元の民話「白へびの恩返し」にちなんで、藁で作った白へびを燃やして無病息災を願う左義長が２年に一度、地域の方の協力のもと実施されています。今年度は、白へびを天に送る年で、左義長の様子を見させてもらいました。２年前に地域の方と子どもたちで作った、長さ１０ｍの藁の白へびは２年間、園で子どもたちを見守っていて、その藁の白へびを園児たちが、ワッショイワッショイと引き回して、ちゃんと白へびの顔も書かれていて、それを左義長に巻付けて点火されると、「白へびさんありがとう」と皆で今まで見守ってくれた白へびに感謝の気持ちを込めて言っていました。山田

こども園の園庭は、こども園としてはとても広いです。園庭でこういった山田ならではの左義長の体験ができることはとても素敵で、地域の伝統文化を引き継ぐ子どもたちが育まれていくのだなと感じました。来月に新たな白へびをまた地域の方と協力して園児たちが作るそうです。園長先生にお聞きすると、山田も住宅が増えてきて、田んぼが減ってきて、藁を集めるのが難しくなってきているそうです。伝統行事を継承していくことがなかなか難しい面も出てきているようにお聞きしました。多少形が変わったとしても子どもたちが地域の伝統行事に触れる経験を大切に育んでいってほしいなと思いました。

それから今日の午前中、クレアホールでの「ＥＳＤフェスタｉｎくさつ」を見させていただきました。代表として３校発表されましたが３校ともとても素晴らしかったです。新聞の読者の声みたいな欄に、草津市の小学生が総合的な学習の時間に体操を作っている、ということが載っており、書いている内容がとても純粋でいいなと思いました。今日の常盤小学校の発表でも、常盤学区は草津市の全体平均よりも６５歳以上の方が倍ぐらいいて、何がいいのかと言われたら体操が健康に良いということで、地元の体操の先生とかいろいろな方に聞いて、自分たちで作って子どもたちの目線で、自分で出来ることをやっているのが凄くよく分かりました。１人ひとりが発表するのも練習されたと思いますが、とても感動しました。純粋で本当に地域の方に健康でいてほしいという願いが伝わってきました。ＥＳＤは今年が草津での元年だそうですけれども、教育委員が座っている座席の周りに、学校運営協議会の方々が座っておられて何かいろいろなアイディアが浮かんでこられたのか声を掛け合って話されているのを耳にしました。また御講演された野口健さんのお話の中で、ネットで見ることよりも自分の目で見ると、見て知ったことは、それを「背負う」と、その状況を、だから行動に移す。そういう話をされていたのが、まさにそうだなと印象に残りました。これからもＥＳＤの活動を各小・中学校で日頃から丁寧に進めていってほしいなと思いました。

以上です。

伊藤委員

１月１３日に２０歳のつどいの午前の部に参加させていただきました。２０歳のつどい実行委員長を始め、総勢合計３７名が準備してくださった式は、本当に心温まるものでした。

オープニングセレモニーで流された映像の２０歳になるまでの軌跡を見せていただいていると、２０年は育てている親にとっても子どもたちにとってもあっという間の出来事のように感じるのではないかと思いました。今回の２０歳のつどいに知り合いの息子さんが参加されていましたが、その息子さんは実は中学時代は不登校を経験されておられ、あまり中学校の方には行かれておられませんでした。親御さんは、まさか自分の子どもが友達もそんなにいない２０歳のつどいに参加するとは思ってもいらっしゃらなかったのですが、本人が市役所からの案内をいただいたときに参加したいという思いがありひとりで参加されていたということです。ですが、この２０歳のつどいから帰ってきた息子さんの様子を見ていると、中学校では話す機会のなかった同級生がたくさん声をかけてきてくださったそうで嬉しそうに帰ってこられたそうです。２０歳のつどいという行事がなかったら中学校の思い出は苦しい思い出として自分の中に残っていたかもしれませんが、こうして卒業して５年後に大人になって再会したときに、人の温かみを感じるような出来事になるこの会は、節目を祝うというだけではなく、それぞれの子どもたちがいろいろな思い出を回収している場なのかもしれないなと感じました。

１月２１日に第３回目の教育研究所主催の「自分軸づくり講座」に参加してまいりました。第１回目は、「状況に呑み込まれない自分づくり」、第２回目は、「状況に流されない自分づくり」、第３回目の今回は「状況を受け入れる自分づくり」についてでした。状況を受け入れるためには四つのステージがあること、１.自分が納得した選択をしていること、２.現状の意味を理解していること、３.成長する理由を把握していること、４.現状のステージを把握していること、の必要性を学び実際の体験を共有しながら学んできました。学校の現場では予期せぬ出来事に巻き込まれて、納得がいかない事例があっても自分の気持ちを押し殺して対応しなければならないことが多く予想され、体験共有の中で様々な意見が出ておりました。自己犠牲というキーワードや物事の因果関係など講座が終わった後も皆さんの本音が飛び出しておりました。教育現場で大切にしないといけないのは、自分の心なのか子どもの心なのか答えは出ませんがそれぞれの形で皆さんが日々の出来事を体感されている様子を見て、こういった研修の必要性を感じました。

今日の午前中、スクールＥＳＤフェスタｉｎくさつに参加させ

ていただきました。私は中３の娘がおりますので、実際に取組をしているのを家で話を聞いたりしていたのですけれども、全部の学校がどんな活動されているのかを見る機会がなかなかないので、本当にいい機会を与えてくださったなと思って聞いておりました。どこが良い悪いとかは全くなく、どこも素晴らしいっていうのが本当のところなんですけれども、去年の学校経営報告会のときに、ＥＳＤくさつをやると先生たちも自尊心が上がるという話がありまして、先生の自尊心が上がると当然お子さんの自尊心が上がってくるんですけれども、そういった自尊心をすごく上げてくれるという意味で最後アンケートがあり、自分は長所を生かし助け合って活動できたと９７％の回答があったのを良い傾向だなと思って見ておりました。その後、野口健さんの講演会を聞かせていただいたのですけれども、調べた知識というのが平らなものであるっていう話、調べたものを今度は現場に行って見る、そして考えて活動する。活動するということは伝えることとセットである。また、伝えるときには仲間がいる。という話がすごく印象的でした。見て知って、背負う。そこまでをしっかり子どもたちにもやってもらいたいなと思いました。

以上です。

小辻委員

１月の２０歳のつどいですが、私は残念ながら欠席しました。ＹｏｕＴｕｂｅの方で拝見させていただきましが、教育委員として初めて反対側から見るという経験でしたが、午前の部も午後の部も素晴らしい２０歳のつどいであったなと思いました。市長がＹｏｕＴｕｂｅｒになれるとか、様々なＹｏｕＴｕｂｅを含めての取組がされていて、例えば電報とかもありますけどもこのＹｏｕＴｕｂｅでもスーパーチャットを受け付けて、そういう形で何かみんなでお祝いできるような場っていうのもあるのかなと思いました。問題がある言葉に関しては、事前に出ないように設定しておけばいい話なので、皆でこういうふうな御祝いを、その場に居なくてもできるようなことがいいなと思いました。初めて反対側から見るのも非常に良い経験だったなと思います。

教育全般に関する事柄として、非常に気になったことは、草津の中学校教育に期待されてくると思うのですが、滋賀県の私立中学校の出願の平均倍率が約２倍位だったのですが、ほぼ１校に集中していて、他は非常に近い位置だったそうです。他は京都とかを受

験される児童がおられると聞いておりますが、まず公立の中学校に進学されて、高校の時にという方も増えてくるのではないのかなと思います。これから様々な教育に期待される方が増えてくるのではないかなと思いました。今後、より草津の中学校には入試を含めたサポートが必要になってくるなと感じました。当然、公立の方に進学される方は非常に多数おられますし、毎年卒業式の時期になると、心配だという保護者の方の声がありますので、その辺りをどのようにケアしていくのか、サポートしていくのかということなど公立中学校に求められてくることが増えてくると思いますが、そのあたり草津市への流入者が増える中で考えなければいけないのかなと感じました。

私が立命館大学で担当している授業を草津宿街道交流館に受け入れていただきまして、学生たちの第２弾の草津のマップでＷｅｂ上でスタンプラリーを利用するという企画がありまして、利用者も多数おられたと聞いておりますので、また今後も学生が云々ではなくて、そのデジタルスタンプラリーのあり方とかも検討していただいたり、できれば小学生とかもいろいろな形でＥＳＤとか、デジタルスタンプラリーの何かが出来たりすると、よりしっかりと学びにも役立つのかなと思いますので、積極的に御検討いただけたらなと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

藤田教育長　それでは、「教育長報告」につきましては、以上で終了させていただきます。

――――――日程第４――――――

藤田教育長　次に、日程第４の付議事項に移ります。

「議第１号社会教育主事の任命につき議決を求めることについて」審議いたします。

事務局から説明をお願いします。

生涯学習課長　「議第１号社会教育主事の任命につき議決を求めることについて」生涯学習課の古川が御説明申し上げます。

議案書は、３ページから５ページでございます。

社会教育主事につきましては、社会教育法第９条の２第１項により、教育委員会の事務局に社会教育主事を置くと規定されてお

りまして、今年度当初からは１名が在籍をしております。
この度、別の職員１名が研修を受けまして、令和６年１２月に資格を取得しましたので、令和７年２月１日付けで社会教育主事に任命を行いたくお諮りするものでございます。
誠に簡単ではございますが、説明を終わらせていただきます。

藤田教育長　ただいまの説明につきまして、御意見、御質問がございませんか。

小辻委員　現在、社会教育主事にならなくても、社会教育士という資格を文部科学省の方も推進されておられますが、取得される方も出てきていると聞いております。こういった辺りでのサポートとかをどのような形でされているのか、もしくは今後いろいろな形で社会教育士の資格を取得された方が任命された際にどんなことを考えておられるかとか、社会教育主事と同等の能力というか資格を持たれた方々が増えてきているという現状を踏まえてどんな処で活躍していただくのか考えておられるのであれば教えていただきたい。

生涯学習課長　社会教育士の方に関して、取得を例えば地域の方がされるのに何かの御支援をというところでは、現状させていただいているものはございませんが、取得をされた方が例えば地域の中で増えてきたという中で、こちらの社会教育主事とその地域の方が連携して地域協働合校などいろいろな地域活動を行っていくという場面がどんどん増えてくると思いますので、その時に連携をしていく中で、お互いのキーパーソンとして連携がもっとうまく円滑にいくように関わっていくことができるかなというふうに考えております。また、今後、検討していきたいと思います。

小辻委員　是非、地域に社会教育士の方も社会教育主事の方と連携していただくようなスキーム作りをしていただけるとありがたいなと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

藤田教育長　それでは、本議案について御異議はございませんか。

各委員　―　異議なし　―

藤田教育長　異議がないようでございますので、議第１号は、原案通り可決されたものと認めます。

――――――日程第５――――――

藤田教育長　次に、日程第５、「報告事項」に移ります。
事務局の説明をお願いします。

教育総務課長　「報告事項１定期監査の結果について」教育総務課の山田より御説明をさせていただきます。
報告書は、９ページからでございます。
令和６年１２月２６日付で草津市監査委員から令和６年度に実施されました定期監査の結果報告が公表されました。
教育委員会所属で監査の対象となりましたのは、９ページに記載をしております３所属でございます。それぞれ監査が実施されました結果、いずれの所属におきましても意見・指摘事項はございませんでした。
報告事項１「定期監査の結果について」は、以上でございます。
続きまして「報告事項２寄付受け入れ報告について」を御説明いたします。
報告書は、１５ページでございます。
詳細は一覧表記載の通りでございますが、寄付品目記載の
バスケットボールを山一産業株式会社様から、冷水機を笠縫小学校ＰＴＡ様から、本陣鞘の間板絵複製を個人様から、
それぞれ寄付をいただきました。
寄付受け入れ報告についての説明は以上でございます。

藤田教育長　ただいまの、「報告事項」について、御質問等はございませんか。
それでは、「報告事項」につきましては、以上で終わらせていただきます。
以上をもちまして本日の議事は終了となります。
これをもちまして１月定例会を終わらせていただきます。

閉会　午後２時３０分